

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」<校内研修シリーズ>

【No.150:こども基本法について】

1. こども基本法の基本的な知識について確認しましょう。

○(記述式)

こども基本法の6つの基本理念を書いてください。

1つ目:

2つ目:

3つ目:

4つ目:

5つ目:

6つ目:

○(穴埋め式)以下の文章の括弧に当てはまる語句を書いてください。

こども大綱とは、()法に基づく我が国初の大綱です。令和 5 年 12 月 22 日に ()決定されました。

こども大綱に掲げられるこどもまんなか社会は、「全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、()的・()的・()的に将来にわたって幸せな状態()で生活を送ることができる社会」です。

○(選択式)以下の文章の括弧に当てはまる語句を選択肢から選んでください。

こどもまんなか社会の実現に向けて大事にすることは以下の6つです。

1. こども・若者を()として認識し、その多様な人格・個性を()し、()を保障し、こども・若者の今とこれからの()を図る。
2. こどもや若者、子育て当事者の()を尊重し、その()を聴き、()しながら、ともに進めていく。
3. こどもや若者、子育て当事者の()に応じて切れ目なく対応し、十分に支援する。
4. 良好な()を確保し、()と()の解消を図り、全てのこども・若者が()で成長できるようにする
5. 若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な()・考え方を大前提として若い世代の視点に立って()、()に関する希望の形成と実現を阻む隘路(あいろ)の打破に取り組む。
6. 施策の総合性を確保するとともに、()、()、()等との連携を重視する。

【選択肢】

(ア)尊重 (イ)格差 (ウ)視点 (エ)対話 (オ)結婚 (カ)権利
(キ)幸せな状態 (ク)子育て (ケ)ライフステージ (コ)権利の主体
(サ)貧困 (シ)成育環境 (ス)地方公共団体 (セ)最善の利益 (ソ)関係省庁
(タ)民間団体 (チ)価値観 (ツ)意見

○(選択式)以下の文章の括弧に当てはまる語句を選択肢から選んでください。

※選択肢は次ページにあります

こども大綱と教育基本法に基づく教育振興基本計画は()する必要があるという認識の下、こども大綱には学校教育関係の記載が多く盛り込まれています。

具体的には、ライフステージを通じた重要事項として、「こども・若者が()の()であることの社会全体での共有等」、「多様な()や()、活躍できる機会づくり」、「こども・若者の()対策、犯罪などからこども・若者を守る取組」などの施策が盛り込まれています。また、ライフステージ別の重要事項として、「学童期・思春期」のパートでは、「こどもが安心して過ごし学ぶことのできる質の高い()の()」、「()を迎える前に必要となる()に関する情報提供や教育」、「()防止」、「()のこどもへの支援」、「()の見直し」、「()や()の防止」などの施策が盛り込まれています。

【選択肢】

(ア)主体 (イ)再生 (ウ)権利 (エ)知識 (オ)体罰 (カ)体験
(キ)不登校 (ク)自殺 (ケ)公教育 (コ)不適切な指導
(サ)成年年齢 (シ)連携 (ス)校則 (セ)いじめ (ソ)遊び

2. 以下の中からテーマを選んで先生同士で議論しましょう。

- こどもの最善の利益について考える際には、大人の考えや都合の押し付けにならないよう、こども自身の意見に耳を傾け、その意思を尊重する姿勢が大切です。こども基本法に掲げられた「こどもの最善の利益」や「こどもが権利の主体」という考え方を学校運営や学級活動の中で実践していくために、どのようなことができると考えましたか。「こどもの最善の利益」や「こどもが権利の主体」ということを聞いて、学校や学級の中でどのような場面を思い浮かべましたか。できそうだと思うことについて話し合しましょう。

- 児童生徒の意見を聴いて、それを反映するという点について、これまで皆さんの学校や学級ではどのような取組をしていましたか。これまでの実践例や取組、今後どのような取組ができると考えたか話し合しましょう。また、日常の学級活動の中でこどもの意見を尊重するには、どのような言葉や姿勢でこどもと接した方が良いと思いましたか。こどもとの対話のあり方についても話し合しましょう。

- 本日学習したこども基本法やこども大綱の趣旨や内容を、児童生徒や保護者、地域の方々に知ってもらうために、学校や学級でどのような取組ができると思いますか。